婦人と新社會

山田わか主筆

十二月號

夢と現實

新聞の生命に附て

政治生活と家庭生活の調和

職業婦人と性道德

戀愛と理知

現政府と女子の賣買

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十三年十一月廿三日印刷納本

每月一回一日發行　第五十七號　大正十三年十二月一日發行

東京婦人と新社會出版發行

夢と現實

凡ての國民中で最も詩的な佛蘭西。内政は亂脈であるにも拘らず、
永久に理想的な善、兩性の平等、自由戀愛、自然な同胞主義、
貧と勞苦を皆無にする富、少數の先覺者を崇拜する民衆の自由、
それ等を夢みつづけ、そして泣いてゐる。
それ等は確かに英雄的な夢である。高尙な夢である。
けれども、夢は醒めるのが、又、自然である。
それ等の夢は國民の敎會を建築する高尙な足場である。
けれども、敎會の代りにそれ等の夢が獄屋と賣女屋を
建てることになつたのは悲しい。
—神よ、佛蘭西を救へ！

（ブラオニング夫人）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新聞の生命に附て

世界を治めるために進んで世界を研究しなければならないと云ふ觀念は今の政治には殆ど用がない、さう云ふ種類の研究と今日の政治とは余りに懸隔が甚だしい。少くとも今日の狀態に於ては、政治を執るに必要な報告を世界に提供するやうな機關はアリストツトルが彼の理想國家を書いた時代から先づ進歩はないと云つてよい。

故に、もし、政治家に向って「一體、國民の意志を基礎とする報告を貴方は何處から取つて來るか？」と問ふなら彼はめんくらツてしまふに相違ない。今日の政治家にとつては此の質問は「貴方の生命並びにたましひは何處から來たか？」と問はれるのと同じであらう。

政治家は殆ど常に民意と云ふものが存在し、政治家の義務は、唯投票箱と代議政體と云ふ發明品を運用すればこと足れりと思つてゐる。勿論正しい狀態の下に、政治家が適當に此の機關を運轉するならば其の機關の目的は達せられるかも知れない。けれども、それは政治ではない。持主のない機械を運用するやうなもので、國民の意思とは別問題であるから。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日、最も進歩した政治を執ると云はれてゐる社會主義者であれ 共産主義者であれギルド社會主義者であれ殆ど例外なく投票と 代表の正しい單位の上に政治を設定しさへすれば、直ちに、社會制度中で最も複雜な政治機關が完全になると云ふ 觀念を餘りに信じ過ぎてしまつてゐる。その點は彼等が排斥する政治家と少しも選む處がない。

要するに、今日の民主々義の第一問題、否、其の成長に必要な 生命は、如何にして此の民意を知るかの問題である。從つて、此の民意を知る機關が最も重要なものである。

今日の新聞が 此の民意を正確に傳へてゐないと信じられるのは遺憾の極みである。今日の新聞が正確に民意を代表してゐないと云ふことは 門外者なる私自身よりも新聞從業者が充分承知して居られることゝ私は考へてゐる。いろ／＼な營業上の問題や、其の外、民意を眞に代表する意向を妨げたり破壞したりする事情が存在することも 私に考へられなくはない。

けれども、新聞が如何に營利 本位にならうとしても、どうしても他の營利業と同じやうになれない要素を含んでゐることも、誰も 否むことの出來ない事實である。そして此點が新聞の生命である。

新聞の生命其のものが益々成長し、眞の輿論の機關となることを希望する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治生活と家庭生活の調和

一

婦人參政權に對するいろ〳〵の反對意見は皆打ち破られてしまつて居ますが、唯、一ツ、婦人參政者が其の反對論者に滿足な答へを與へてゐない點があります。そして、それは政治生活と家庭生活とは兩立出來ないと云ふ議論であります。誰が何と云つた處が「男は外、女は內」と云ふ此の分業は最終のものであつて、到底、これ以上に改良する餘地はありません。此の分業的義務のうちには其處に犯すべからざる或るものがあります。

今迄の婦人論者殊に過激な婦人論者は家庭と云ふものは古くさい單なる保守主義の遺物だ位ひに云つて退けて、そして、多くの巧みな皮肉を並べて、如何にも自分達はさう云ふ古いものには超越してゐるやうに、ふるまつて、そして、彼等の所謂ユートピヤを擴げて居りましたが、併し、彼等のうちの誰も彼もが、彼等が古いとけなして居る人達と同じように戀をする。同棲する。子供が出來

る。子供は可愛くて離されない。結局、夫婦親子の揃つた家庭を造る。そして、其の家庭の圓滿が彼等にとつても最上の幸福であります。

筆や口でどう云ふ議論を吐かうとも、實際生活が其れに伴はないならば、其の議論にはビタ一文の價値もありません。

誰が何と云はうと人種に關する根本的事實は人種の經續と云ふことで、そして、其の繼續の眞髓は男女の健康的な成長です。そして、男女の健康的な成長は健康的な家庭によるものです。

從つて、家庭は男女の生活の中心であります。家庭問題は人間の問題中で最も人間的な問題であります。なぜなら、健康的な家庭があつて、始めて、健康的な人種が出來るからです。ですから、此の家庭の利益と衝突するものは、如何なるものでも疑ひの目をもつて見て差し支へないと私は思つてゐます。

こう云ふように大きな使命を持つてゐる家庭の利益を婦人參政權は破壞すると云はれた時に、そんなことは無いと一言の下に否定することが出來ないのは當然です。尤も、無責任な言葉を弄することに慣れてゐる人々は一言の下に『そんなことはない』と蹴とばしてしまいますが、併し、事實

に於て『そんなことがある』のですから、其の事實はどうすることも出來ません。

政治に關係した人は勿論、政治に直接關係しない人でも、政治 生活がどの位ひ、一個の人の精力と時間を必要とするかを知つてゐます。又、政治生活は 人望と名譽を得るたやすい道であることも明らかなことで、そして、これが多くの男子が 政治家になる動機でもありました。

ですから、婦人參政權反對論者の抱く恐れは 一應無理のない處なのです。

二

けれども、婦人が代議士となつて 國會に出席するとか、又は、最高な行政部に位置を占むるとか云ふならば、問題が非常に難かしくなりますが、併し、先づ普通ならば 四年に一度、又、議會が解散にでもなれば 其の間に一度位ひ、投票に出かけた處で、それが家庭の義務を等閑にすると云ふ程のことではありません。

そして、婦人が選擧權を持つて居ることは 最高な倫理的價値であると云ふことは、旣でに、ジョン・スチユアト・ミルが立證して、そして、それは古典とさへならうとしてゐます。

つまり、それは、婦人の一人格者たることの承認であり、婦人の必要と婦人の苦痛を嫌やでも應でも男子に聽かせる手段であり、力であります。婦人の感情、婦人の使命、婦人の權利を踏み付けようとする亂暴な男子を防禦する武器であります。ですから、結局は、婦人も參政權を持つべしと云ふことは既でに確定された事實であります。

婦人が投票權を持つと云ふことは何等の差しさはりはないが、唯、殘る問題は、今も云ふ通り誰が、婦人の感情、婦人の意志、婦人の權利を代表して政治界に乘り出し、婦人の意志を國政に徹底せしむるかと云ふことであります。母性並びに家庭に對する義務と政治家としての義務とは兩立出來ないと云ふことは今も申ました。政治界に立つて有効な仕事をしようとすれば、夫、子供、家庭を顧みてゐる暇がありません。

今迄の婦人論者や過激論者が何と云はうと公共事業にたづさはれば家庭を等閒にしなければならないと云ふことは避けることの出來ない運命であつて、そして、これは決して婦人らしくないことです。

産業に婦人を從事させることに對する反對論は、其の仕事に婦人は不適當だと云ふよりも、婦人

にはものを造るよりも人を造ると云ふより貴い仕事がある。一勞働者としてよりは、一女性としてつまり、母性としてのより高い使命があると云ふことでありますが、政治に關しても、我が子、我が夫、我が家庭を捨てゝ政治に走ることは、個人の見地からも國家の見地からも決して利益ではありません。

そんなら、婦人を代表するものは矢張り男子の政治家であるかと云ふと、男子の政治家は矢張り婦人の代表者としては充分でありません。

其處で、私の理想として力說したい點は此處にあります。つまり、婦人は一人の婦人としての義務を果してしまつた後に、云ひかへれば、自分の生んだ子供を育て上げてしまつた後に、もう一度云ひかへれば、我が子に對する母としての義務を解除された後に、今度は社會の母として働くことが出來ると云ふことです。社會の母として働くことが出來る位置に到達した婦人が代議士となつて全國の婦人を代表して働くことは、何處にも差し支への起らない最も當を得た行き方であると私ば信じます。

同性の不幸、並びに子供の感情を知りぬいた、女性としての母らしい感情の熟した婦人代議士が

政治界に乘り込んで行くならば、確かに、今日迄の男性政治を或程度迄は人道化して行くと私は思ひます。

子供を育て上げてしまつた母の家庭は、彼女の娘か、又は、むすこの妻が、母に代つて雜務を見て呉れます。ですから、公共事業に參加するならば、全心全力を其の事業に注ぐことが出來ます。西洋各國に於ては、さう云ふ婦人が公共生活を送つてゐて、そして、彼女の屬する部門に美しい光りを放つてゐます。

人種及び家庭の見地から、婦人は、結婚當時から子供を育て上げる迄は家庭的專門家であらねばなりません。專門家であるとは云へ、社會の事情に通じたり、自己の知能の發達を計ろうとすればその位ひの餘暇は誰にでもあります。さうして、時勢に後れないように修養を積み、子供の愛によつて人道的に訓練された感情を持つて、社會に奉仕しようとする婦人こそ、本當の意味の現代的婦人であります。そう云ふ婦人こそ、總合と建設と奉仕の精神を持つた貴い婦人であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

職業婦人と性道德

精神の自由を獲得し、人格の向上を計るために婦人は經濟上の獨立と云ふことを考へ、そして、先づ、職業の自由と云ふ言葉が從來の所謂先覺婦人の大部分のモットーでありました。

婦人は職業の自由を或程度迄得ました。そして、婦人の職業の範圍は日に月に擴大しつゝあります。

處で、婦人運動者の最初の計畫どほり、職業の其の自由に婦人の精神並びに人格の向上が伴つて行きつゝあるでせうか？　遺憾ながら、婦人運動者の最初の希望とは反對の方向に進みつゝあるのではないでせうか？　殊に、性的道德が著しく頽廢しはしないでせうか？

性慾道德の維持は困難なものです。なぜなら、それは最も强い本能の力を制限するものでありますから。故に、其の强い本能の力を制限して性慾道德を全ふするには、さうするに都合のよい社會環境を造り出すことが必要條件でありますが、併し、今日の處では職業婦人のためには丁度其れとは反對に墮落に入るに最も都合のよい社會環境が造り出されてあります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

性的道徳を維持するには 都合の悪い社會環境にあつても、もし、婦人自身が強い人格、高い理想の持主であるならば、彼女自身の自尊心及び自制心が 性道徳を破るようなことをしなのですが、併し、さう云ふ強い人格、高い理想を持つた婦人が少ないのですから、性慾道徳が滔々と亂れて行くのは、むしろ當然の成り行きでありませう。

そして、これは經濟に重きを置き過ぎた初期の婦人論の弊害の一ッであります。

多くの職業婦人のうちには、婦人の職業に關する議論が何であれ、事情 止むを得ず、職業に附く人、又は或る立派な覺悟と信念の上に職業を選む人等があります。こう云ふ人は 腐敗した環境に支配されずにまつすぐに進んで行くことが出來ます。

けれども、婦人の職業が流行であるからとか、家庭の雑事よりも 樂であるからとか、或ひは、又日々の行動が自由に取れるからと云ふ理由で 職業に入る婦人は結局は性道徳の亂れを増長させてゐるのです。

或る價値ある目的のための富の蓄積は云ふ迄もなく非常に有益です。これに 反して、快樂を求むるための富の蓄積は不道徳の苗床となります。又、無目的の、つまり、單なる 金力の集中は如何な

る社會に於ても、甚だ不健全な勢力の增進となり、道德の破壞力となります。
婦人の職業も其れと同じで、立派な覺悟と信念の上に營まれるのであるならば、誘惑の手の觸れるすきも無いし、又、彼女自身の精力の大部分が其の覺悟と信念の上に費されて性的の惱みも緩和されて性慾道德の維持も容易であるわけですが、さうでない場合は、唯でさへ燃へてゐる本能の力に注ぐ油となるものは彼女が直接儲ける金と日々の行動の自由です。

彼女の墮落が彼女一人ですんでしまうものならば、問題は比較的難しくないのですが彼女達の淫蕩的行爲から生まれる子供のことを考へる時、誰か戰慄を感ぜずに居られませう。

銀座に代る商業中心あたりには目色毛色の變つた私生兒を抱く職業婦人がぼつ〳〵現れ殆めたと云ふことですが、混血兒を生むと云ふことは左程問題にならなくとも、さう云ふ子供を產むに至つた經路、さう云ふ子供の將來に付て考へる時、私共は寒心に耐へないのです。

婦人の貞操を堅固に保護してゐた因習の垣は見事に打ち破られました。貞操に關する今迄の標準は全く無力になりました。

ですから、其の擴大して行く自由と平行して婦人の責任觀念が增大して行かなかつたならば、性

的道德は何處迄墮落して行くか計り知ることが出來ないでせう。

誰が何と云つても、性慾道德を健全に維持するに最も有力なものは一定の標準に從つた幸福な家庭生活です。

性慾道德の種族に於けるは、丁度、人格道德の個人に於けると同じもので、精神的に生理的に强健な人種の經續と云ふことが性道德の標準となるべきものです。そして、其の標準に從ふならば、いやでも遊戯的な戀愛やかゝるはづみな結婚は出來なくなります。そして、戀愛は結婚とならなければならず、結婚は永久的な幸福な家庭生活とならざるを得ません。

現政府と女子の賣買

未成年女子の賣買禁止に關する一九二一年の國際條約に對し日本政府は二個の留保を附して加盟するに決し近く閣議の決定を經た上巴里に於てこの旨を宣言するのだと云ふ。そして、二個の保留條項とは、（一）日本に適用せる場合に限り成年々齡二十一歲とあるを十八歲とすること。（二）臺灣、朝鮮、樺太、關東州及び南洋委任統治諸島に對し本條約を實施せざること。（これは第七條に締約國は其の植民地、保護國、其の他海外領土に對しては本條約を實施せざるべき旨を宣言するを得とあるに準じたもの。）

で、政府が右二個の保留を附した理由は、原條約のまま加盟すると二十一歲以下の女子は未成年者と見做されて賣買を禁止されるから自然公娼制度を撤廢しなければならなくなるので成年々齡を十（十四頁へ續く）

戀愛と理知

基督でさへ一度は洗禮を受ければならなかつた。

我々俗人が自由を享有するには、幾度も〳〵義務の又は理智の洗禮を受けなければならない。

戀愛至上主義も、其の義務の又は理智の洗禮を受けて、始めて美しいもの、貴いものになると私は思ふ。

愛は、理智とか義務とか云ふやうなものの拘束などを受くべきものでない。まして、法律と云ふやうないかついものの束縛などを受くべきものでないと云ふやうなことを、私共は度々聞かされる。

實際、さう云ふ美しい貴い愛が存在することを私は否定しない。同時に、さう云ふ愛はザラにあるものでないことを知つてゐる。

多くの場合、實は戀愛病患者であることを遺憾とする。戀愛病に犯されて、高度に發熱してうはことを云つてゐる。うはことを大眞理と思ひ誤まつて、そして戀愛至上主義などと稱へられては實に滑稽であり、且つ、厄介である。

戀愛至上主義其のものは、決して惡いものではない人間の活力及び生命の源泉が其處にあるのであるから戀愛によつて結び付き、其の戀愛を永久に繼續してゐる夫婦は、此の世に於ける最大幸福者であることは誰でも知つてゐる。戀情の消滅した夫婦の生活が、ジメジメした重苦しい不愉快其のものであるに反して、戀愛に惠まれてゐる夫婦の生活は、お互ひに與へ合はうとする情熱によつて、彼等を取り卷いてゐる空氣を明るく溫くし、其處から絕えず新しい力新しい衝動を汲み出し、そして、周圍の者の一切が潤ほされて行くと云ふのは事實である。

實に戀愛は自由であり美しいものであらればならない。自由で美しいものであらればならないから、其れを生かして、大きく强くして行く用意、つまり理智が伴はなければならない。さう云ふ條件を考慮のうちへ入れての戀愛至上主義こそ立派な美しい、そして有益なものである、これに反して無條件に唯漠然と稱へる戀愛至上主義は前にも云つた通り、熱病患者のうはことと等しいものであると私は考へてゐる。

（十二頁から）八歳としたのだし又植民地を本條約の適用範圍外に置いたことは植民地にある同胞の發展策のためだらうと云はれてゐる。實に今我が政府は人道の敵、國家の病毒なる人身賣買の事實、公娼制度の存置を世界に向つて宣言し、國際的に公認させようとしてゐるのである。この不道德、この破廉恥を敢へてして、しかも、世界の道德的水準の上に立ち一等國に列しようとしてゐるのか、日頃云つてゐる國威と云ふものはどうなるのか、當局者の頭に異常がありはしないかを私は疑ふ。

我が日本民族が海外に發展して行く場合にはいつも賣女の群が先頭に立つてゐたと云ふことを聞いたことがあるが、併し、それは昔のことで、幾分良心に目醒めてゐる今の日本男子はそんな意氣地なしではないと私は思つてゐた。けれども、前述の政府の意向を知つて私は失望のどん底へ突き落された。賣女の群にくつついて居るのでなければ我が日本青年は海外に發展出來ないのか、そんなことで、日本男子の面目が何處にあるか。且つ又、植民地と本國とは恰かも親と子の關係にあるのであるから、何にもかも本國なみにしてよい筈である。植民者は本國にゐる者よりも一層放縱でよいと云ふ理由は少しもない。のみならず、人身御供となる多くの女子のうちには植民者の先頭に立つような強い婦人ばかりではない。隨分無知であり可憐である者が少なくない。それ等の可憐な娘達を、丁度獅子の檻へ雞を放して獅子の食物にするように、植民地に荒狂つてゐる男子の中にほうり込んでそれ等の男子の食物にすることを公認しようとは！新時代青年諸士の最後の斷案を促す。（十一月十九日）

本誌臨時定價表

一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	送料共）

雜誌代及郵税は前金の事。御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと。郵券代用は五厘切手にて一割増。廣告は御照會次第御相談いたします

大正十三年十一月廿三日印刷納本
大正十三年十二月　一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一八九
印刷人　大杉山次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八